

# 平成26年度 防災教育全体計画

<p><b>【仙台市防災基本計画】</b> ○ 地域と連携した「防災の取り組み」「避難所との関わり」</p> <p><b>【杜の都の学校教育】</b> ○ 新たな防災教育の充実</p> <p><b>【防災モデル校連絡協議会】</b> ○ さまざまな防災教育の実践と検証</p> <p>(共通の重点的な取り組み) ○ 地域と連携しての防災教育体制の確立 (校内での重点的な取り組み) ○ 生命の大切さを自覚し、自助共助の力を身につけたたくましい生徒</p>	<p><b>【学校教育目標】</b> 強い意志と自主、友愛の精神を培い健康で創造性に富む生徒の育成</p> <p>(自主) 自ら学び、自ら考え、正しく判断し、主体的に行動する生徒 (創造) 何事にも創造的に取り組み、全力を尽くす生徒 (友愛) 友情を深め、互いを高め、認め合い、正義感にあふれる生徒</p>	<p><b>【生徒の実態】</b> ○ 規範意識が高く、学校での教育活動にまじめに取り組む。 ○ 家庭学習の習慣化を基盤とした学力のさらなる定着が望まれる。 ○ 他者を思いやり、表現する力の育成が課題</p> <p><b>【地域の実態】</b> ○ 丘陵地帯と、地下鉄沿線の都市型地帯に分かれている。 ○ 地域の教育に関する関心は高い。 ○ 住民の顔の見える関係作りのニーズが都市型地帯ほど高まっている。 ○ 3つの連合町内会に分かれており、防災への取り組みは始まったばかりである。</p>
---	---	---

<p><b>【地域とともに歩む学校】の観点から</b> ○ 安心、安全な地域づくりへの貢献</p>	<p><b>【「長町中学校区小中9年間を見通した防災教育の流れ」でめざす生徒像】</b> (自助) 危険の低減と安全の増加について考えることができる生徒 (共助) 仲間や地域と連携し、地域の課題を解決していくことができる生徒</p>	<p><b>【自分づくり教育】の観点から</b> ○ コミュニケーション能力の育成</p>
---	--	---

【「長町中学校区小中9年間を見通した防災教育の流れ」でめざす生徒の防災対応能力】		
<p><b>【知識】</b> 自助) 自然のメカニズムについての学びを深め、現象と被害の大きさの関連について知る。</p>	<p><b>【技能】</b> (自助) 災害発生時、発生後のサバイバル能力を高める。 (共助) 何が必要かを考え、協働して防災活動に取り組むことができる。</p>	<p><b>【態度】</b> (自助) 自分が助かることがなぜ必要なのかを考えることができる。 (共助) 自己有用感を高め、主体的に地域の役に立つ活動に参加できる。</p>

【各教科・領域との関連】			
<p><b>【各教科】</b> 防災に関連する知識、技術を身に付けさせる。 ・国語：表現力の育成 ・社会：日本の自然環境、災害、環境問題、行政の動き ・理科：気象、大地の変化 ・保健：障害の防止、救急法</p>	<p><b>【道徳】</b> 1ー(3) 自主・自立 2ー(2) 思いやり 3ー(1) 生命の尊重 4ー(2) 公徳心・社会連帯 を中心に、生命を尊重し、自己を大切にする気持ち、地域の一員としての自覚と協調性を養</p>	<p><b>【特別活動】</b> 1 避難訓練に関わること 2 家庭での防災に関わること 3 自分たちでできる非常時の共助に関わることを中心に、学級活動や生徒会活動を通して防災に関わる自主的・実践的な態度を養</p>	<p><b>【総合的な学習の時間】</b> 1 多様な避難訓練 2 防災に関わる理解向上 3 キャリア教育との関連 を中心に、自助、共助の力を総合的に高める。</p>

<p><b>【地域との連携】</b> 1 町内会、商店会との連携 非常時に生きる、普段からの顔の見える関係作り。 2 社会教育団体との連携 社会教育のフレームを生かした、生徒の自助、共助の力の育成。 3 社会福祉団体との連携 福祉の観点からの防災の意識向上につなげる。 4 行政との連携 地域全体の防災の観点の理解向上につなげる。 を中心に諸団体との連携を図り、防災教育や防災訓練などでの協働をめざす。</p>
---